

聖和学院高等学校

聖和発 未来へ向かって共創力





SEIWAGAKUIN
HIGH SCHOOL

School guidebook
2024

22歳の私は、 どのような未来を 描いているだろう

皆さんは今どんな将来の夢を持っていますか？

「世界を舞台に活躍したい」「クリエイティブな仕事につきたい」「興味のある分野の研究者になりたい」様々な夢があると思います。これから夢を探すという人もいるでしょう。聖和学院は、それらの夢をしっかり受け止め、一緒に夢を実現するために一人ひとりにしっかり寄り添い、教員が丸となって丁寧に指導をしています。

しかしそれ以上に私たちが大切にしているのは、夢をかなえたその場所において、周りから必要とされ、頼りにされるような人を育てるということです。そして自分自身が生きがいを感じることができる心を育てるということです。

皆さんが大学を卒業する22歳の時に描く未来が現実のものとなるように、学力はもちろん、人として大切なことをともに学んでいきましょう。

Contents

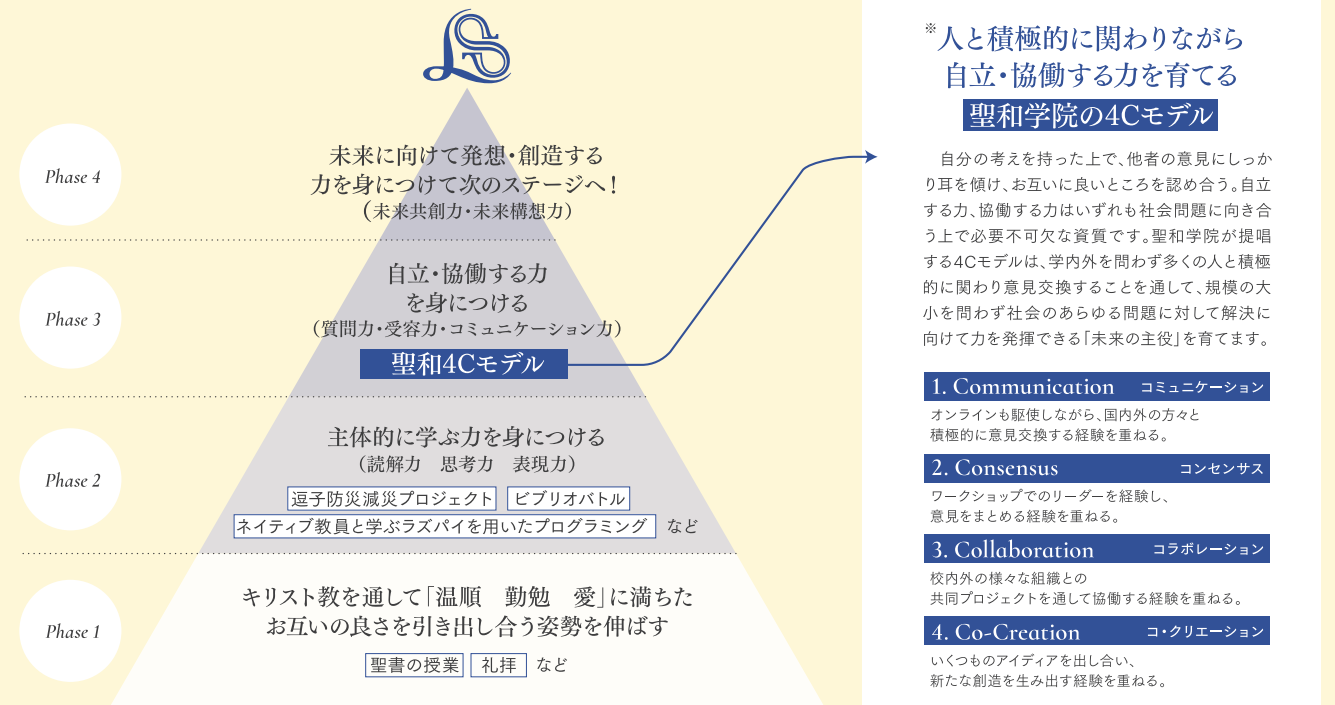
- 02 聖和学院の教育の特徴
- 04 3年間の学びの流れ
- 06 英語教育
- 08 ICT教育
- 09 WGL(ウィメンズ グローバル リーダーシップ)プロジェクト
- 10 探究活動
- 12 進路指導と卒業後の進路
- 14 学校行事/クラブ活動/1日の流れ
- 16 施設紹介
- 17 制服紹介





聖和学院の教育の特徴

聖和学院の教育には大きく2つの側面があります。1つはキリスト教を土台として、自己肯定感や隣人愛など、時代が変わっても変わらない人として大切なことを学ぶこと。もう1つは、常に時代を見据えて最先端の学びを積極的に取り入れることです。学びの手法やツールは変わっても、その背景にある人として大切なことは変わらないということ、学びを通して理解していきます。



SEIWA EDUCATION MODEL

[聖和学院の学びのモデル]



3年間の学びの流れ

英語科

グローバル教育が一般的になるはるか以前の1987年、国際人としての教養を伸ばすために設置された神奈川県唯一の英語学科です。英語四技能を伸ばすだけでなく、他校に先駆けて実施している海外研修やオンラインプログラムを通して積極的に国際社会と交流します。合わせてICTスキルや国際人に必要なマナーも身につけます。理系分野で国際的に活躍したい生徒のために英語科理系コースもあります。



普通科

一人ひとりの目標と可能性を広げ、幅広い知識と教養を培うことを目的としています。普通科文系コースは人文科学や社会科学を重視し、選択科目を充実させ多彩な進路に対応しています。普通科理系コースは国公立大学や私学の医歯薬理工学学部を受験する生徒のためのコースです。文系コースと同様特別講習や受験対策講座が充実しています。どちらのコースも少人数ならではの手厚い指導で希望の進路を実現します。



好きなことに夢中になれば 学習習慣も学力も自然に身につく

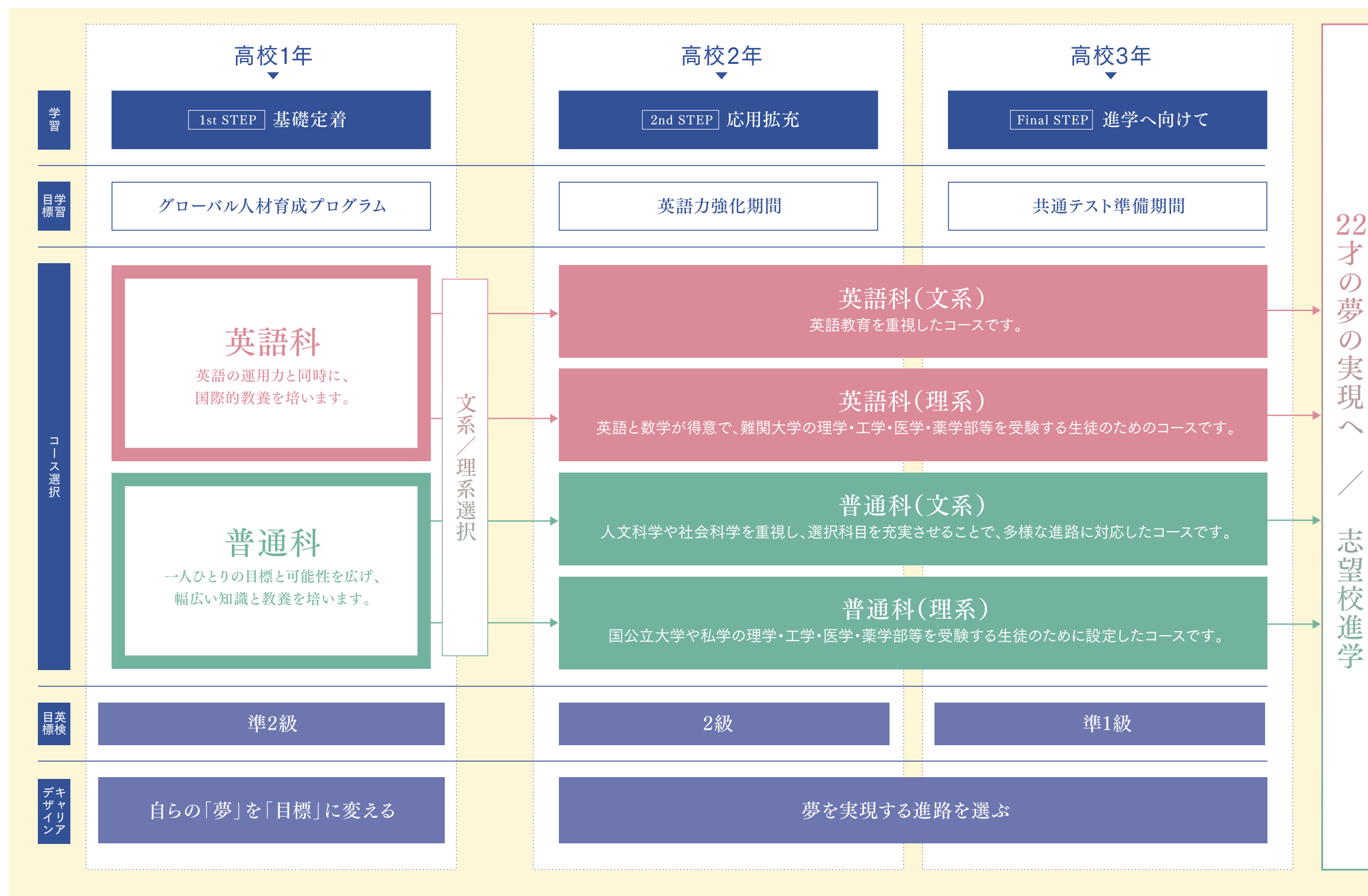
国際人に求められる英語力と品格を伸ばす英語科
幅広い知識と教養を培い多彩な進路を実現する普通科
一人ひとりの好きなことに夢中になれる2コース制

好きなことに打ち込んだり、関心があることを調べたりすることは誰にとっても楽しいもの。夢中になって取り組むうちに、自然にスキルが向上し、知識も深まっていきます。

神奈川県唯一の英語科は、英語が好きな生徒を国際的に活躍できるリーダーとして育てることを目的としています。重点的に英語を学びながら、異文化・国際社会を理解します。英語を使って自分の考えを発信し、国際社

会で活躍できる土台を培います。

一方普通科では幅広い知識と教養を身につけながら、一人ひとりの興味や志望に応じて多様な進路を実現することを目的としています。普通科の英語も英語科とほぼ同数の単位数が確保されており、四技能をバランスよく学び、積極的に使える英語力を身につけていきます。どちらの学科も、文系・理系コースがあり、一人ひとりの希望する進路にきめ細かく対応します。





英語教育

英語力を高めるだけでなく グローバルリーダーとしての資質を伸ばす

聖和学院の創設者であり英語教育の大切さにいち早く注目していた武藤功は、1978年にロンドンで開催された第21回世界教育者会議に日本人でただ一人参加。当時イギリスの教育科学大臣で、のちに長く英国首相を務めたマーガレット・サッチャー女史と懇談し、生涯にわたり親交が続きました。このことが現在でも県内唯一の「英語科」設置のルーツです。

聖和学院の英語教育の目的は国際社会で活躍する女性リーダーを育てることにあります。重点的に英語を学ぶことで国際社会に通用するコミュニケーション能力を習得し、キリスト教の学びを通して高い倫理観を身につけ、模擬国連やバーチャル留学を通して常に世界情勢に関心を持つ意識を養い、ICT教育を通して世の中の動きを分析し、自分の考えを表現するスキルを身につける。これら全てが融合した学びを進めることによって、単に英語が得意だけでなく国際感覚を十分に身につけた女性リーダーとしての力を伸ばします。

ネイティブ教員は、英語の授業だけでなくプログラミングも英語で指導。授業以外でも生徒と積極的に関わるので、校内ではいつもごく自然に英語が使われています。



MESSAGE

実用的な英語力と大学合格に必要な 英語力を両立して習得します

実社会におけるツールとして十分に通用する実用的な英語力を育てると同時に、難関大学の入試においても強力な得点源として活かすことができる確かな力を育てること、これが聖和学院における英語教育の狙いです。

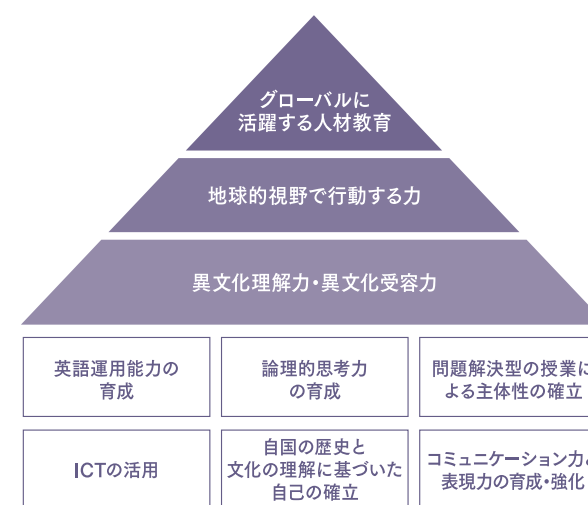
教材は四技能をバランスよく学ぶだけでなく、論理的思考力なども育てられるものを厳選。教科書の各ユニットでリーディングや英文法を反復練習するほか、スマホを用いた自学自習や、ICT機器を活用した留学体験などを通して英語力を強化していきます。

またネイティブ教員によるイメージ教育も取り入れており、プログラミングを英語で学びます。ネイティブ教員は課外活動にも積極的に関わっており、校内ではどのようなシチュエーションでも当たり前のように英語を話す環境が整っています。

英語科教諭 古山 みゆき
MIYUKI KOYAMA



英語教育プログラム



INTERVIEW

人の前に立つことに慣れ
自分の英語で表現できるようになった



英語の苦手意識を克服したいという思いで英語科に入学した私。いつもネイティブの先生とお話できる環境にあるおかげで、自然にリスニングに慣れました。イングリッシュキャンプの模擬国連では、自分なりに考えたスピーチを話しました。緊張して手も震えてきましたが、友達のおまじないのおかげで最後まで自分なりの英語で話すことができました。人前で発表する機会が多いので自然に慣れてしまおうは聖和学院の良いところだと思います。

2年 M.N.さん

ますます英語スキルを磨いて
世界中の人に最上級のおもてなしを



イングリッシュキャンプでは模擬国連で議長役をして、Best Awardを受賞しました。ネイティブの先生のサポートのおかげでSDGsというテーマに対して難しいと先入観を持たずに、スピーチや会議なども楽しむことができました。この経験のおかげで今もスピーチなど自分で発表することを楽しんでいます。これからもますますコミュニケーションスキルを磨き、将来の夢であるホテル経営者として世界中の人に最上級のおもてなしができるようになりたいです。

2年 N.N.さん



ICT教育

最先端のICT機器を積極導入して 世界レベルのICTスキルを身につける

早い時期からICT機器を活用した学びに注目し、積極的に取り組む続けている聖和学院。学校でプログラミング教育をするために開発されたラズパイ(RaspberryPi400)をいち早く導入しており、さらにそれをネイティブ教員が英語で教えています。世界に通用するプログラミング技術とその土台となるICTに関する英語力を伸ばしながら、同時に論理的思考力、発想力、問題解決力、チームビルディング力などの21世紀型スキルを身につけることができます。これらの力は英語スキルと同じように、国際社会に通用する女性リーダーに必要とされるものです。

生徒は1人1台のタブレット端末をはじめとするICTツールを日々の学習に活用しており、プレゼンテーションにも積極的に取り組んでいます。また校内にはハイスペックなPC(WinとMac)や3Dプリンターもそろっており、より高度なプログラミング学習やクリエイティブな活動をインフラ面でも全面的に支えています。

40年以上前から先駆的に取り組まれている 聖和学院のコンピュータ教育

ICT教育が叫ばれるようになるはるか以前の1982年、個人向けのコンピュータ(パソコン)がようやく発売され始めた頃に、聖和学院は情報化社会の到来を見越していち早くパソコンを導入し情報処理教育をスタート。世界の動向を見据えて先駆的に新しいことを取り入れる姿勢は今に至るまで連綿と受け継がれています。



1982年、情報化時代に備えてコンピュータによる情報処理教育が始まる。

ソニー・グローバルエデュケーション とのパートナーシップ

ラズベリーパイを用いたプログラミング講座で音楽アレンジやアニメーション制作等を通して、プログラミングの楽しさと難しさを体験します。高度なレベルで知られている(株)ソニー・グローバルエデュケーションとパートナーシップを結んでいるのは聖光学院中学校高等学校様と聖和学院中学校高等学校の2校です。



WGL(ウィメンズ グローバル リーダーシップ)プロジェクト

「聖和から世界へ！」 国際社会で活躍する 女性リーダーの育成プロジェクト

WGLは、グローバルな規模で活躍できる女性リーダーとしてどのように生きていくための力を、実際に世界で活躍している女性リーダーの生き方を学ぶことによって育てていくための聖和学院独自のプログラムです。政治や実業など様々な分野で英語を使って働く女性たちの経験や、課題に直面した時にどのように克服したかということについて理解を深め、自分がリーダーになったときに何を考えどのように動くべきか考え、リーダーに相応しい主体性や態度・能力の基礎を育成します。

WGLプロジェクトには英語教育も含まれます。バーチャル留学、イングリッシュキャンプ、英語スピーチコンテスト、英語によるディスカッション、模擬国連などを通して異なる言語と文化を持つ人々とのコミュニケーションを積み重ねます。そして異なる文化を持つ人々を受容し、共生する豊かな心と、英語環境の中でも臆することなく主体的に発信する力を伸ばします。



マーガレット・サッチャー女史と
聖和学院創設者武藤功



1972年の世界教育者会議(ロンドンで開催)以来、サッチャー女史との親交が続いていた。

WGL活動を経験して 様々な分野で活躍する卒業生たち

中学・高校における英語教育の 最先端で活躍する女性リーダー

S.S.さん

お茶の水女子大学教育学部卒
同大学院人間文化創成科学研究科博士後期課程修了
筑波大学人文社会系 助教



第二言語習得を専門とし、教師や学習者の心理(動機づけ等)を研究しておられる本校中高出身のS.S.さん。ご自身も中学・高校で英語教師として教鞭を取った経験から、中等教育課程における英語教師と学習者の心理や動機づけについて、主に質的な手法で最先端の研究を進めている女性リーダーです。

女性の不妊症と遺伝子の機能を 研究する未来のリーダー

M.K.さん

筑波大学生命環境学群卒
同大学院理工情報生命学術院博士前期課程1年



英語科理系コースを卒業したM.K.さん。筑波大学に進学して食品や生物について学び、2023年4月から同大学大学院に進学。女性の不妊症と関連のある遺伝子の機能について研究を進めている未来のリーダーです。2022年11月には聖和学院に戻り、現在の研究や在校時どのような勉強していたかについて在校生のためにお話してくれました。



探究活動

海・山・風・空・太陽… 逗子の街と共に学び、視野を広げる

聖和学院がある逗子市は品川から約50分、横浜から約30分という大都市近郊にありながら、豊かな自然に恵まれたコンパクトな街です。逗子海岸には自然の砂浜があり、どこまでも広がる大空には爽やかな風が吹き抜け、明るい太陽の光が街に降り注ぎます。少し内陸に入ると緑豊かな小高い丘や山が点在しています。

聖和学院の探究活動は、この街の特性を最大限に活かしたプログラムを展開しています。観光促進や防災対策など町が抱えている問題を身近な問題として捉えることができるので、調査から問題解決案提示に至るまでコミュニティの一員として考え、取り組むことができます。コンパクトな規模で行われるので誰もが主役。一人ひとりの考えをしっかりと共有しながら議論を深め、自身の濃い活動を行っています。

逗子ハイランド住民のための 「家族で作るじぶん防災帳」

わくわく探究活動の一環として、逗子ハイランド自治会と協働して防災対策のハンドブックを作成しました。起こりうる災害リスクや、避難場所、災害に向けての備えなどについて1冊のハンドブックにまとめ、ハイランド住民の皆様にも共有することができました。オリジナルキャラクターも登場して、とてもわかりやすいと好評をいただきました。



MESSAGE

あなたの「わくわく」が
未来を幸せな場所に！

聖和学院の探究活動は、他者と協力しながらよりよい未来を作り出す力を育む礎です。多様な社会の課題を「自分のこと」として捉え、情報収集・整理・分析を繰り返して課題解決を図ります。地域の皆様や大学・研究機関など学外の方との共同活動を通して、自らの興味・関心つまり「わくわく」することに取り組み、やがては社会に変化を起こし、未来を幸せな場所にできる力を身につけます。

探究活動は地域社会や世界に広がる学びと日々の教科学習とをつなげる学びでもあります。校外活動を通して得られる気づきが日々の学習へのモチベーション向上にもつながり、教科学習で知識や分析手法が深まることによって、校外活動体験を通して得られる理解や課題解決への提案のレベルが向上するという、とても良い循環が生まれています。

探究活動担当教諭 秋澤 直美
NAOMI AKIZAWA



INTERVIEW!

こちらの伝え方一つで、たくさんの人が
協力してくれることを学んだ



逗子市民祭りの「クリーン作戦」としてゴミ袋を配布しました。その時にこちらからの伝え方一つで相手が快く協力してくれるかどうかが大きく変わること気づき、工夫するうちに伝え方が上手になりました。その時のことを湘南青少年環境会議で発表したのですが、他の人達の発表から、自分たちにはないアイデアをたくさん学ぶことができました。これらのアイデアを取り込んで、さらに良い変化を生み出せるよう次につなげていきたいです。

2年 C.K.さん

探究活動で得られた経験を
大学の学びでも活かしていきたい



私がいた班では、文房具の未来について調べ、未来の文房具をオークション形式で紹介するという発表をしました。最初は不安でしたが学年を超えていろいろな人と素直に意見を出しあうことができ、とても楽しかったです。自分にはいろいろな価値観を知ることでもできました。発表では高校2年生がスライドを作り、私はオークショニアとして商品を紹介して見事優勝できました。この経験をいかしてこれからは意見が違う人ともしっかりと話し合って理解し合っていきたいです。

2年 E.U.さん

キリスト教の精神に基づいた心の教育

「神は愛なり」を建学の精神とする聖和学院では、キリスト教の精神に基づいた心の教育をしています。礼拝・聖書の授業を中心に一人ひとりがかけがえない大切な存在であるという自己肯定感を高めるとともに、自分を大切にするように他者を大切にする隣人愛の精神を学びます。このような考えはSDGsの考え方とも一致しており、持続可能な社会を作り出すリーダーとしての心の資質を伸ばすことにもつながります。



進路指導と卒業後の進路

22歳の夢の第一歩として 目指す進路の実現！

卒業時の大学合格実績だけをゴールとするのではなく、生徒の人生を長期的な視点で考えるのが聖和学院の進路指導の特徴。大人になったときにちゃんと自分の考えを持ち、自分自身が納得のいく人生を歩んでいくことができる人を育て、次の学びの舞台へと送り出していくことが私たちの使命です。そのために、大学を出て社会人になる22歳の時に具体的な目標をもって主体的に人生を歩むことができる確かな学力と、健全な自己肯定感、他者と協働する姿勢を身につけていきます。

キリスト教精神に根差した人間力を土台に、様々な探究活動を通して主体的に学ぶ経験を重ね、聖和4Cモデルを繰り返すことで自立・協働する力を身につけます。そして少人数校ならではのきめ細かな進路ガイダンスや学力指導、卒業生によるキャリア形成支援などのプログラムで生徒一人ひとりをしっかりアシストしながら、未来への第一歩として目標とする大学への合格を目指します。入学後に大きく学力を伸ばす生徒が多く、国公立早慶上智の現役合格率は20%を超えています。



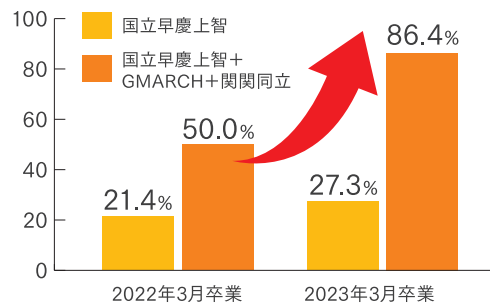
2023年3月卒業生・大学合格実績 在籍22名 全員現役進学！

東京外国語大学	1名
立教大学	3名
法政大学	1名
立命館大学	1名
日本大学	1名
神奈川歯科大学	1名
日本女子大学	1名
フェリス学院大学	1名
多摩大学	1名
女子美術大学短期大学部	1名

早稲田大学	3名
同志社大学	2名
学習院大学	2名
東邦大学	1名
明治学院大学	1名
神奈川大学	3名
酪農学園大学	1名
文化学園大学	1名
目白大学	1名
戸板女子短期大学	1名

上智大学	2名
青山学院大学	1名
関西学院大学	2名
東京農業大学	1名
東海大学	2名
國學院大学	1名
実践女子大学	1名
湘南医療大学	1名
国際ファッション専門学校	1名

現役合格率



進路ガイダンス

22歳の夢を実現させるために 今何をするべきか。

進路指導の教員が行うガイダンスを通して最新の入試情報を理解するとともに、自分の客観的な学力も把握して、計画的に受験対策を進めていきます。

CIRCLE WISE

卒業生によるキャリア形成支援企画

自分の夢を形作っていったのか、どのように合格を勝ち取ったのか、卒業生自らが対話形式で自分の経験を共有してくれるので、在校生にとっては自分らしい夢を考えるための良いきっかけになります。対話形式なので先輩に今困っていることなどを相談することも可能。「様々な分野に進んだ先輩の話を聞いて視野が広がった」「身近な先輩に悩みをたくさん聞いてもらえた」と生徒にはとても好評です。ここで先輩に助けられた生徒が、数年後は卒業生として後輩を助ける。聖和学院らしい素晴らしい“CIRCLE”が続いています。

MESSAGES from alumni

MESSAGE

01



勉強面でも
人間的にも
成長させてくださった
先生方に感謝

2019年卒業
筑波大学大学院
筑波大学理工情報生命学院
生命地球科学研究群
博士前期課程 1年
M.K.さん

聖和学院で幾度となく自分と向き合い考えた「22歳の夢」。私が描いた夢は、人の健康に貢献できるような研究者になることでした。そのため、大学では食品や生物についての学びを深め、現在は大学院で女性の不妊症と関連のある遺伝子の機能を研究しております。聖和学院では、キリスト教を土台とした先生方の愛情あふれる指導のもと、勉強面でももちろん、人間的にも大きく成長する機会を多くいただきました。聖和学院の先生方や、年間と共に過ごした一生ものの友人には今でも心から感謝しております。

MESSAGE

02



在校時に考えた
22歳の夢は、
今でも自分の芯に

2017年卒業
上智大学
外国語学部卒業 旅行会社勤務
M.Y.さん

積極的に英検にチャレンジするなど、英語漬けの学校生活でした。在校時は「22歳の夢」を常に考えながら過ごしており、国際交流に携わりたいという思いから上智大学に進学し、今は旅行会社で海外案件を担当し始めています。夢の形は変わりましたが、「海外と日本をつなげる仕事をしたい」という部分は今でも自分のキャリアの芯になっています。少人数でも個性的なメンバーと、熱心に指導してくださる先生に恵まれ、本当に充実した学校生活を過ごすことができました。

MESSAGE

03



塾に通うことなく
現役で
早稲田大学に合格

2023年卒業
早稲田大学
文学部
A.N.さん

聖和学院に入学したのは、少人数でここなら落ち着いて勉強できると思ったからです。実際塾には通わず、校内で計画的に勉強を進めることで早稲田大学に現役合格できました。また体育祭やクリスマス音楽会などの行事ではみんなで協力して取り組むなど、楽しい思い出もたくさんできました。大学では日本史を軸に幅広く学びを進め、22歳になったときには学んだことを通じて社会に貢献できる人間になりたいです。素晴らしい中高時代を過ごせた聖和学院にはとても感謝しています。

MESSAGE

04



個性を
尊重し合う
温かい雰囲気
にあふれている

2023年卒業
東京外国語大学
言語文化学部
K.S.さん

聖和学院は少人数ですが、一人ひとり違う個性が輝いています。そしてそれを尊重し合う温かい雰囲気にあふれている学校です。私は3つの兼部をしながら、授業を最大限に活用して塾に通うことなく東京外大に現役合格できました。英検もサポート体制が充実しており、1級に合格できたことで入試がとても有利になりました。一つのことには夢中になるのもよし、様々なことに挑戦するのもよし、無駄なことは何一つありません。ぜひ聖和学院で自分の道を進んでほしいと思います。



SCHOOL EVENTS

[学校行事]

いつもあたたかな感動で包まれている聖和学院の学校行事
 みんなで力を合わせて創り上げるから、喜びは何倍にもなります。礼拝やクリスマス音楽会のように、
 祈りとともに自分と向き合う行事もあり、一人ひとりの心に大きな軌跡を残しています。
 ふだんの授業では得られない「学び」や「気付き」に恵まれ、目を輝かせる生徒の姿が印象的です。

4 April ●入学式 ●前期始業式 ●実力試験 ●イースター礼拝 ●新入生合宿	5 May ●母の日礼拝 ●授業参観、保護者会 ●模擬試験 ●前期中間試験 ●英語検定受験	6 June ●花の日礼拝 ●JALマナー講座 ●芸術鑑賞会 ●体育祭・聖和祭(隔年) ●大学キャンパスツアー	7 July ●進学説明会 ●文理選択説明会 ●宗教講演会 ●漢字検定受験 ●イングリッシュキャンプ(高1) ●SONYプログラミングキャンプ(高1)	8 August ●夏期講習	9 September ●防犯教室 ●JALマナー講座 ●保護者会 ●前期期末試験 ●球技大会(バレーボール) ●前期終業式 ●妊産婦避難訓練
10 October ●後期始業式 ●模擬試験 ●プレゼンテーションコンテスト全校大会 ●数学検定受験 ●英語検定受験 ●漢字検定受験	11 November ●感謝祭礼拝 ●実力テスト(全校) ●点灯礼拝 ●後期中間試験	12 December ●クリスマス燭火礼拝 ●クリスマス音楽会 ●イングリッシュキャンプ(高2) ●英語スピーチコンテスト	1 January ●模擬試験 ●英語検定受験 ●宗教講演会 ●百人一首大会	2 February ●卒業礼拝 ●送別会 ●JALマナー講座 ●CIRCLE WISE ●ビブリオバトル全校大会	3 March ●卒業式 ●後期期末試験 ●スポーツフェスティバル ●後期終業式

運動部	SPORTS CLUB	文化部	CULTURE CLUB
■バレーボール部 ■バスケットボール部 ■ダンス部 ■バドミントン部 ■新体操部	■陸上競技部 ■テニス部	■ESS ■調理部 ■華道部 ■演劇部 ■合唱部	■吹奏楽部 ■幼児生活研究部 ■パソコン部 ■美術部 ■手芸部 ■茶道部 ■放送環境部 ■科学部

CLUB ACTIVITIES

[クラブ活動]

聖和学院には運動系7、文化系13のクラブがあり、
 中学生と高校生が合同で活動しています。
 お互いに励ましあい、高めあいながら
 自分たちの目標に向かっていく経験はかけがえのない成長の機会。
 多くの生徒が自分の好きなクラブに入り、同じ興味を持つ仲間と存分に楽しんでいます。



1日の流れ

8:30 登校	8:30 朝礼	8:40 午前の授業	12:30 昼食	13:10 午後の授業	15:00 HR・清掃	15:30 クラブ活動	17:20 下校(土曜日は15:20)
----------------	----------------	-------------------	-----------------	--------------------	--------------------	--------------------	----------------------------



●SEIWAコモンズ



●マルチメディアルーム



●正門



●チャペル



●クリエイションスペース



●ラーニングスペース



●クリエイションカフェ



●キャリアカウンセリングルーム



●クッキングスペース



●茶室



●体育館



●聖和学院自然教室(農園)

SEIWA E-Library 聖和学院 中学校 高等学校 電子図書館



インターネットに接続された環境であれば、365日好きな時にPC、スマートフォン、タブレットから電子書籍の閲覧、貸出、返却をすることができます。

SCHOOL UNIFORMS

[制服紹介]

聖和学院の制服は逗子のさわやかな海によく似合う、ネイビーを基調としたセーラー服です。
夏服(半袖・長袖)は白、冬服は紺色で、清楚な雰囲気だと好評で、ポイントは、胸元の「S・G」の文字と腕章のロゴマークです。
腕章は「愛の広がり」をイメージしたSEIWAの「S」と、Loveの「L」をデザインしたものです。



SCHOOL COAT



カーディガン(ネイビー)



カーディガン(ホワイト)



自然豊かなキャンパスに整えられた 最新のICT環境

海と山に囲まれた逗子の落ち着いた住宅街に立地する聖和学院。
これだけ自然豊かな環境で学ぶ6年間は、人生においてかけがえのない貴重な財産になります。
東京・横浜方面から下り方向なのでJR・京急ともに座って通学できるのも大きなメリット。
ラッシュに巻き込まれずに、予復習や読書などに集中できます。
校内は全館にWi-Fi完備。全教室で電子黒板をはじめとするICT機器を活用した学びが行われています。
また聖和学院自然教室では栽培収穫などの農業を体験。
最先端の学びを積極的に取り入れつつ、生の自然から学ぶ機会を大切にしています。

FACILITIES

[施設紹介]

SEIWAGAKUIN HIGH SCHOOL

聖和学院高等学校

〒249-0001 神奈川県逗子市久木2-2-1 TEL. 046-871-2670

JR横須賀線・湘南新宿ライン「逗子駅」西口徒歩8分 京浜急行「逗子・葉山駅」北口徒歩10分

●横浜駅→JR逗子駅 29分 ●藤沢駅→JR逗子駅 17分 ●上大岡駅→逗子・葉山駅 21分 ●横須賀中央駅→逗子・葉山駅 16分

<https://www.seiwagakuin.ed.jp/>

